

## 合言葉は「ダメ。ゼッタイ」

小原中学校で薬物乱用防止教室

2月24日、白石益岡ライオンズクラブ（ゆかざまこと 糠澤誠会長）主催の「薬物乱用防止教室」が小原中学校（さしはら 佐藤博校長）で開催されました。この活動は、薬物に対する正しい知識を身に付けてもらおうと、同クラブが平成19年から小中学校や高校で開催。この日は、講師の富岡和弘さんが生徒や保護者などに、スライドを使いながら分かりやすく説明し、参加者は熱心に耳を傾けていました。同教室は、学校や団体からの申し込みを受け開催。講師の交通費や謝金などは不要です。詳しくは宮城県仙南保健所（☎0224-53-3119）にお問い合わせください。



▲社会全体の問題として正しい知識を身に付けましょう

## ひな人形とともに心温まる空間を

壽丸屋敷ひなまつりコンサート



▲ひな人形とともに歌や語りを楽しむ観客

2月27日、ひな人形がきれいに飾られた壽丸屋敷の大広間で「ひなまつりコンサート」が開催されました。

白石まちづくり(株)と昔むかしを伝える会が共催したこのコンサート。白石市の佐藤美佐子さんと大河原町の雲走範子さんが童謡や歌謡曲などおなじみの曲を歌ったり、民話などを語ったりと、約70人の観客は心温まる空間を楽しみました。

コンサートの後は、折り紙でのひな人形づくりを楽しんだり、ホワイトカレー温麺を味わったりして、子どもから大人まで「桃の節句」を楽しみました。

## 沖縄の熱く優しい音色を表現！

白石高校エイサー隊が本場の団体と共演

2月12日、沖縄の伝統舞踊「エイサー」を授業で学ぶ白石高校1年生36人が、中央公民館で開催された「創作エイサー隊炎舞太鼓」(上里好博代表)の白石公演に出演しました。エイサーは、旧白石女子高校で平成19年度から授業に採用。平成20年度から上里さんを講師に迎え、統合後も女子の必修体育で踊り、選択音楽の授業で沖縄の伝統楽器「三線」を学びました。昨年12月にはクラス対抗の発表会も行い、上里さんから出演の依頼があり実現しました。生徒たちは公演のオープニングで登場。約400人の観客の前で堂々と踊り、会場を盛り上げました。



▲息もピッタリ！ 練習の成果を發揮しました！

## 感謝の気持ちを込めて料理を振る舞う

大平小卒業感謝の会



▲うどんの生地をめん棒で伸ばす児童たち

2月17日、「卒業感謝の会」が大平小学校で開催されました。この会は、卒業を間近に控えた6年生15人が家族や学校行事でお世話になった地域の方に手料理を振る舞って感謝の気持ちを表す恒例行事。児童たちはヘルスメイト白石(立田ふち子会長)のメンバーの指導を受け、中力粉と塩水を混ぜ合わせて生地を作り、めん棒で伸ばして包丁で切るなど、慣れない料理に苦戦しながら、約50人分の手打ちうどん作りに挑戦。その後、野菜たっぷりの2種類のうどんにして、出来たてのモチモチうどんを食べながら会食を楽しみました。

## 樋口ときえさん(南町二丁目)・日下ツクヨさん(沢目)が元気に100歳を迎えました

### 「人との交わりを大切に」

樋口 ときえさん



▲贈呈された袷袢をまとい笑顔のときえさん

元気に満100歳を迎えた樋口ときえさんと日下ツクヨさん。風間市長がお二人を訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈りご長寿を祝福しました。

2月28日に満100歳を迎えたときえさん。大和町に生まれ、結婚後は4人のお子さんを育てました。小学校教員を務められたあとは、さまざまなボランティア活動などで活躍されたときえさん。「人との交わりと対話を大事にして、毎日、目標をもって暮らしています」「自分でできることは自分でやるという精神で積み重ねた活動が100歳を導いてくれました。感謝の気持ちで生活しています」と笑顔で話してくれました。

3月7日に満100歳を迎えたツクヨさん。越河に生まれ、結婚後は下駄屋を切り盛りしながら、8人のお子さんを育てました。庭の手入れが日課で、「お客さまが来るから」と前日にも庭の枯れ葉拾い。「規則正しい生活をして自然体で過ごすこと」と、長寿の秘けつを話してくれました。裁縫が得意で、子どもの嫁入り道具に着物をプレゼントしたことも。この日はご自身で仕立てた着物を着て、ご家族と一緒にお祝いしました。

これからも元気で過ごしてください。

### 「自然体で規則正しく」

日下 ツクヨさん



▲ご自身作の着物を着て笑顔のツクヨさん

## 直径22センチの土俵で「はっけよい！」

放課後児童クラブ「紙相撲大会」

2月17日、白石第一小学校・第一児童館放課後児童クラブの「紙相撲大会」千秋楽が行われました。平成18年から始まり今年で5回目を迎えたこの大会。1・2年生は幕下、3～6年生が幕内となり1月17日から対戦を続けてきました。

第一小での千秋楽は、幕下が1年の半沢直也くんと櫻田晴己くんが10勝同士、幕内が3年の大庭望鈴さんと永倉秀涼くんが11勝同士で対戦。土俵を囲む子どもたちが「頑張れ！」と声援を送る中、幕下は半沢直也くん、幕内は永倉秀涼くんが見事優勝を飾りました。



▲幕下の優勝決定戦(右が優勝した半沢直也くん)

## 自分が歩く道だから、少しでもきれいでありたい

しろいしサンキューロード・プログラム



▲市道白鳥1・2号線の約400mの清掃活動を行う予定

「しろいしサンキューロード・プログラム」サポーターに、新しく「(株)ニチレイフーズ白石工場」が認定されました。この事業は、市道の美化活動などを積極的に行うボランティアの方々を支援する仕組みとして、平成18年4月から始まり、これまで11団体が認定され、12番目の認定となります。

2月22日に市役所で行われた認定式には、伊藤照夫工場長と佐野宏総務グループリーダーが出席。風間市長から認定書が交付され、出席者全員が市道の美化に向けて決意を新たにしました。